

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

創立30周年記念

TIFAは1992年6月に創立され、2022年6月、30周年を迎えます。2021年度副会長の柏田泰利さん（木曜教室）と牛島芳さん（土曜教室）に記念日を前にお話を伺いました。（司会 広報部 的場正道）

司会 まずは30周年を迎えての感想は如何ですか。

柏田 国内外に携わっていた仕事を退職し、2011年にTIFAに入会しました。偶然にも20周年の頃で、教室は家庭的でかつ熱心な授業風景に、感動しました。あれから10年を振り返ると、西砂教室との統合、柴崎学習館の移転、会則改正等種々の事業に参画させて頂きました。

牛島 入会は2002年8月頃でした。立川のことをもっと良く知りたいと思い会員になりました。入会前研修が行われていて、2か月受講しました。

柏田 この30年間、国際化がどんどん進み、在日外国人も増加の一途でした。立川市の外国人数は10年前に比べ、30%も増えています。（2022年1月1日基準で4,723人、立川市人口の2.55%）

牛島 立川市の委託事業となっているTIFA日本語教室の役割は益々大きくなっていますね。

司会 2016年に技能実習制度改正、2019年に特定技能制度の導入がありました。教室の様子はどうでしたか。

柏田 国籍も出席者数も増加の一途でした。受講動機には、JLPT受験、面接練習、履歴書の書き方、就職情報等生活基盤を目的とした学習者が多くなりました。

牛島 受講生との交流の中で、技能実習制度の実態を目の当たりにして、種々の問題を抱えていることが分かり、心を痛めました。早く制度上の問題の解決とルールを順守した行動を求めたいと思います。

司会 日本では2020年1月に初めてコロナ感染者が確認されました。教室ではどんな対策が取られましたか。

牛島 2月下旬には休講の措置が取られました。新型コロナウイルスの素性が全く分からない中で、授業をどうするか誰もが不安でした。国・市政のガイド（具体的には3密防止、授業前の検温、アルコール消毒）を遵守することと、対面授業とオンライン授業を併用することで、これまで乗り越えてきました。

柏田 オリンピックも延期されるなど本当に大変な時期でした。このような環境下でも、ボランティアと受講生の努力で授業が着実に行われています。会員の日本語教育に対する強い熱意の表れであり、TIFAの団結力そのものだと思います。

司会 今後のアフターコロナの活動について、お考えをお聞かせください。

柏田 オンライン授業の長所は多々ありますが、日本語教室に関しては対面授業が基本で、安心して声を出して会話し、ノートに字を書く授業に戻る日が来ることを私は願っています。

牛島 TIFAの基本的活動に早く戻れるといいですね。全員揃ってのイヤードパーティーやバーベキュー、ミカン狩り等の野外活動も早く復活出来たらいいなと思っています。私は企画渉外部長の経験もあるので、みんなの明るく楽しい笑顔を取り戻したいと思っています。

司会 未来を創る一步を踏み出して行くにあたり、最後に一言ずつお願いします。

柏田 社会の変化、時代の要請は変わっても「明るく、楽しく、元気よく」、学習者のニーズをしっかりと捉えた活動を継続していきたいと思っています。

牛島 30周年を機に「温故知新」、未来に向かって進んでいきましょう。創立の志を忘れずに新しい時代に対応していきたいと思っています。



（左：柏田さん 右：牛島さん）

司会 ご経験やお考えをお聞かせ頂き大変有難うございました。我々全員で頑張っていきたいと思っています。

リレーコラム 交差点

土曜教室 杉坂 篤

落語の愉しさ

今日は、私の道楽である落語の愉しさについて一席。江戸時代中期から明治時代に創られた古典落語が約300、大正時代から今も創られている新作落語を合わせると約500の落語があるとわれ、前座、二つ目、真打の約600人の噺家によって今日も、寄席、ホール落語会等で愉しまれています。落語は噺家が扇子、手拭だけの助けを借りて、先ずマクラで客の様子を窺ってから人情噺、滑稽噺を語り、最後は「サゲ」で終わる「落とし噺」です。



ハツつあん、熊さん、ご隠居、幫間、花魁、等登場人物を、「声色」「しぐさ」「表情」等で、一人で演じ分け、その言葉のやり取りに、客は微笑、苦笑、哄笑、泣き笑いをしながら、いつの間にか、語り手の噺家が見えなくなり、登場人物だけの居場所に入り込みます。語られる時代は違いますが、今でも当てはまる、人間の「業」「欲」「生きざま」を、おもしろ、おかしく、愉ませてくれる、大人の芸だと思えます。

私の最良の噺家はたくさんいますが、敢えてあげれば、正統派・三遊亭円生、現代的で明るい・古今亭志ん朝、変幻自在な・柳家小三治、等々の噺を無性に聴きたくする時があります。もっと語りたいのですが、お時間が来ましたようで。

参考：①マクラ：噺の本編に入る前に喋る身近な話題
②サゲ（オチ）：噺の最後を締める言葉
③幫間（ホウカン）：たいこもち

木曜教室 小林和枝

高幡不動尊

高幡不動尊は、真言宗のお寺で関東三大不動の一つにも数えられています。門の入口には、室町時代に造られた国重要文化財の仁王門があります。金剛力士の一对がりりしく仏敵を威嚇しています。その像の上腕三頭筋、三角筋にパワーをみなぎらせ腕の血管の浮きガリアルです。

さらに境内の南側に広がるエリアには、約200種類以上、7,500株余りの紫陽花が咲き誇っています。紫陽花の赤い色はその土壤に含まれるPHによって変わり、酸性度が強ければ青色系に、アルカリ性が強ければ赤色の花が咲きます。最初は、花に含まれる葉緑素のために薄い黄緑色を帯びていて、それが分解されていくとともにアントシアンや補助色素が、生合成され赤や青に色づいていきます。さらに、日が経つと有



機酸が蓄積されてゆくため青色の花も赤味を帯びるようになっていきます。このようにして花の色が変わっていくので、「移り気」や「浮気」などという花言葉もあります。

四国八十八ヶ所巡りと同じご利益を一日で授かるという、高幡不動尊の八十八ヶ所巡りは、起伏の多い山道を歩きながらのお参りです。赤い頭巾やヨダレ掛けをした可愛いお地藏様と、順路の番号に従っての山道の両側に咲き乱れる紫陽花が心なませます。

歴史を感じながらの、梅雨時のちょっとした、散策と山歩きは気分転換になることでしょう。



土曜教室 杉本 茂

なぜ、2月は28日なの！！

2019年2月の勉強時の会話です。

講師：2月は普通の月より2〜3日少ないだけなのに、もの凄く短いように感じるね。

受講生：2月は29日の年（閏年）と28日の年（平年）があるけどなんで？



講師：それについておもしろい話があります。紀元前のローマ時代の逸話だけど、カエサルのユリウス暦以前、2月は30日ありました。ある時カエサルがエジプト戦に行き、7月迄に帰ってくると元老院と国民に約束をしたのですが、どうしても1日不足で帰って来られませんでした。その時にカエサルは暦を変えたのです。2月から1日取って7月にプラスしたのです。以来平年の2月は29日になりました。閏年は30日のままでした。

受講生：28日は？

講師：カエサルの後の皇帝アウグストスも同じ様なことをしました。2月を1日マイナスして、8月に1日プラスしたのです。そこから平年の2月は28日となり、閏年は29日になりました。

受講生：古代史はロマンに満ちているんだ。

講師：暦については色々な説があるけど、面白いですね。ほんとうだと思いますか。今の暦では、西暦年が4で割り切れる年は、閏年といって29日になるんですね。4年に一度閏年は回ってきます。来年2020年は閏年で1年は366日になります。

受講生：学ばば学ぶほど興味深くて面白いですね。

土曜教室 ボランティア研修会

1月22日(土)と2月26日(土)の二部に分かれて、学習館第一教室に於いて、ボランティア研修会が開催されました。外国ルーツの生徒も共に学んでいる夜間定時制高校での取り組みをテーマに、教員経験豊富な土曜教室の佐藤尚美さんが講師を務め、木曜教室・土曜教室合同で21名のボランティア講師が出席しました。前半は「夜間定時制高校の概要と授業の様子について」、後半は「教材あれこれ」というテーマで豊富な教材の紹介がありました。質疑応答も活発に行われ「アッ」という間の2時間でした。

研修内容：

①「夜間定時制高校の概要、外国ルーツの生徒との関わり、外国語としての英語／外国語としての日本語、日頃授業で感じていること、日本語授業で心がけたこと」などについて学習しました。

②教材について

「数の聞き取り」「日本語初級カルタ」「単語の説明ゲーム」「読ませる教材」「クイズ番組」「間違い探し」「市販教材」「カードを使う」「文字を探す」などなど手作りの教材も多数あり、TIFA 教室活動にとっても大変参考になるものでした。(広報部)



外国人被災者役に受講生を派遣

(総務省主催の自治体職員研修)

2月16日(水)、自治大学校講堂に於いて各地自治体職員を対象とした「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」が行われました。総務省要請に応じて、TIFAはこの研修会に外国人被災者役を務める受講生(在籍者、OBOG)19名をボランティアとして派遣しました。

参加した外国人は「被災者避難所」として設営された講堂に集合し、避難民役を担いました。被災者支援に当たる自治体研修参加者は、外国人避難民から「避難所での生活に何が不足しているか」、「どんな支援をしてほしいか」などを聞き取り、実際の災害を想定したコミュニケーション訓



練や災害支援訓練を行いました。受講生の参加が研修の効果を一層高めたと言えます。受講生にとっても防災や被災時避難などの知見を広げることが出来て、大変有意義な訓練となりました。(企画渉外部)



土曜教室 節分 豆まき

1月29日(土)節分の豆まきの行事が行われました。コロナ禍の影響で2年ぶりの開催となりましたが、オミクロン株の流行に配慮しやや静かな雰囲気の中で行われました。

「鬼は外、福は内」と掛け声を発しながら鬼に向かって豆を投げて、コロナ終息と一年間の無病息災を祈りました。豆を美味しく食べる人もいて、楽しいひと時を過ごすことができました。(広報部)



土曜教室 ひな祭り

3月3日より一足早い2月26日(土)、学習館3階作業室に於いて、3年ぶりとなるひな祭りが行われました。まん延防止等重点措置に基づく対応のため参加者は16名でしたが、折り紙制作に悪戦苦闘しながらも、美しいひな飾りが出来上がりました。またビンゴゲームも行われ、4人が「BINGO」と声を上げ景品を手にして喜色満面でした。参加者はお互いの交流を深めながら日本の文化を体験するなど、楽しいひと時を過ごすことができました。(広報部)



木曜教室 スピーチ会

3月10日(木)と17日(木)の2日に分散し、柴崎学習館作業室に於いて、3年振りとなるスピーチ会を開催しました。With Corona の状況下、マスク着用の上、13名の受講生が一生懸命発表を行いました。質問タイムでは和やかなムードになり、楽しい交流ができました。

発表内容：

- ①サライメ マリアムさん カナダ
英語教師で音楽・映画が趣味。
- ②コウ カイリさん 中国
箱根の旅行計画について
- ③汪洋さん 中国
大学院で書道を研究中、タブレットを使って中国の硯や墨の歴史を語りました。
- ④菅紅心さん 中国
4年前に来日、日本語の難しさや教室の楽しみなど。
- ⑤奚慧さん 中国
クルーズ船や北海道旅行の経験、老人ホームでの仕事、合気道のことなど。
- ⑥蒲明娟さん 中国
四川料理の特徴や香辛料について
- ⑦カエル ヘリングさん ニュージーランド
ラグビーチームのことなど



- ⑧ロマン アレハンドラさん メキシコ
自転車乗りが好き。メキシコシティの気候など。
- ⑨リマル スミタラさん ネパール
ダンスが得意。家族と京都へ旅行したいと。
- ⑩ジョジウンさん 韓国
花見が楽しみ。4月から2年生のお子さんも発表。
- ⑪グエン タイン ナムさん ベトナム
ストレスの解消法について解説。
- ⑫趙セリョンさん 韓国
韓国と日本のカルチャーの違い
- ⑬横山萌さん 中国
愛の三大要素について語りました。難しいテーマでしたが、みんな真剣に聞いていました。(広報部)



土曜教室 スピーチ会

3月12日(土)、柴崎学習館第一教室に於いてスピーチ会を開催しました。

コロナ禍の直前である2019年12月以来の開催となりましたが、8名の受講生が発表者として参加し、スピーチを行いました。1か月以上前からテーマ作りや原稿作りに取り組んだ成果もあって、個性に溢れたレベルの高いスピーチ会でした。

Q&A では賑やかな会話が交わされて、日頃は知られていない受講生の一面も見られて、大きな拍手が湧きました。

発表内容：

- ①リンさん ベトナム
N3に合格、N2に挑戦中で日本語教師が夢。
- ②ビヨンさん フィリピン
イラストが得意、勉強の時の気分転換に描いています。
- ③ランゲツさん 中国
私の町、重慶は三峡ダムが有名。写真に皆感嘆。
- ④リ ケイシさん 中国
富士山登山を体験、登山マナーの国との違いなど。
- ⑤チョウさん 中国
大連外語でN2合格、感謝の気持ちを大切に。
- ⑥カナハナさん ベトナム
職場はLaLaportの近くにある食材のお店、通訳者になるのが夢。
- ⑦リュウセイさん 中国
大学院を今年卒業、研究テーマはバスケットボールの身体動作のAI化。
- ⑧カクカイさん 中国
大学院修士課程で福祉を研究、大学教員を目指しています。



インタビューに答えて



バスケのAI化

(広報部)

ホームページ QRコード

立川国際友好協会



西砂教室

